

ひしのみだよ!

平成30年6月29日発行

発行責任者 千住由一朗

梅雨の晴れ間からは、ときおり顔を見せる真夏を思わせる太陽の下で、子どもたちは砂遊びや園庭での遊びを楽しんでいます。そして、子どもたちが楽しみにしているプール遊びが始まり、水に触れる気持ち良さや面白さを感じながら、夏ならではの体験を思う存分に楽しんでいます。



園では、一人ひとりの様子を気を配り、活動と休息のバランスを考慮しながら過ごしています。ご家庭でも、お子様の体調（早寝早起き・食事のバランス・食欲・皮膚の衛生面・機嫌など）にご配慮してください。感染症の病気も流行りやすい季節となります。引き続き手洗い・うがいを徹底し予防していきたいものです。

7月14日(土)、「夏祭り」お待ちしております!

「ひしのみ夏祭り」は、この季節ならではの経験や体験ができるように毎年開催しています。祭りの雰囲気味わってもらおうと、盆踊りやお店屋さん、ゲームやヨーヨーなどの準備を進めています。ひしのみ会からも楽しい計画を考えられています。これから子どもたちは、どんなみこしを作るかみんなで考え、みんなで協力して作り上げます。どんなおみこしになるか大変楽しみです!



「健康な体と心」とは! (幼児期の終わりまでに育ってほしい姿)

園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活を作り出すようになる。

ここでの姿とは、あくまで成長の目安であり、子ども全員が「こうなるべき」という基準ではありません。一人一人の個性や発達の違いを考慮しながら指導します。

(例)

- ・ 食べ物への興味や関心を持ち、皆で食べると美味しく、友達と楽しく食事をする中で親しく進んで食べるようになる。
- ・ 遊びや生活を通して、危険な場所や遊び方、災害時などの緊急時の適切な行動の仕方がわかり、安全に気を配り状況に応じて安全な行動がとれるようになる。
- ・ いろいろな場面に応じて体の諸部位を十分に動かし進んで運動するようになる。
- ・ 衣服の着脱、食事、排泄などの生活行動を自分で行うことの必要性に気づき、自分でできるようになる。



清潔や健康の習慣は、心地よくなる経験を繰り返し、「気持ちいいね」「きれいだね」と大人が声かけをしていくことで、子どもも「これは良いことなんだ!」と覚え、自分で実践できるようになります。